

情報かわら版

オンライン研修会(5/12)報告号

川崎市立小学校情報教育研究会
会長 青木あゆ子(川崎市立旭町小学校)

令和3年 5月

担当 小杉小学校 武野結基

東京学芸大学 高橋純 准教授よりご講演いただきました

3つの「GIGAはじめてポイント」

GIGAスクール環境を活用していくにあたって3つのポイントをご教授いただきました。

1つ目は「**先生が、業務も含めて試しに使ってみる、良かったら続けてみる、駄目だと思ったらやめてみる**」です。初めての環境や機器に不安な気持ちもあるかと思いますが、「〇〇してみる」くらいの気楽な気持ちで使い始めることが大切です。まずは、校務から使ってみる。例えば、行事の反省を協働で編集してみるとか、先生方のクラスルームでデータを共有してみる等です。

2つ目は、「**楽で、便利な活用法から**」です。GIGAスクール構想の効果は、学力向上ばかりではありません。むしろ、先生方同士で使うときも、子どもが使う時も、情報共有や資料配付など、資質・能力の育成に間接的に寄与するICT活用からはじめてみましょう。授業では、1時間で考えず、便利になる「学習場面」で考えるとよいです。

3つ目は、「**クラウド活用の感覚をつかむ**」です。現在、各校Chrome bookの使い方や活用法などの研修が行われていることと思います。ですが、たまに行われる研修だけでは、「感覚」を養うことは難しいです。日常的な校務からはじめることは、先生方が感覚を養うことにもつながります。また、授業での活用は、大人社会と同じ活用法で授業をするという感覚が大切です。



将来にわたって学び続ける

子どもたちが将来にわたって学びつつしていくために大切な視点が「見方・考え方」と「学習過程」です。学習過程では、いわゆる探究的な学習の過程が一番汎用性が高いです。「課題の設定」「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」の一連の流れ、つまり、課題→事実→考えという大きな枠組みで考えること。そして、そこにICTが入ることで質が上がっていくことを教えていただきました。

私達は、なぜ「いい授業をしたい」と思うのでしょうか。それは、「子どもたち一人一人の力を伸ばしたいから」に他なりません。子どもたち一人一人の力を伸ばすためには、まずは子ども一人一人の把握が大切です。クラウドを利用することで、子どもたち一人一人の把握が圧倒的にしやすくなります。そこに支援をしていくことが個別最適化にもつながるのではないのでしょうか。